

平成29年度 事業報告



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

香川県支部



人間を救うのは、人間だ。

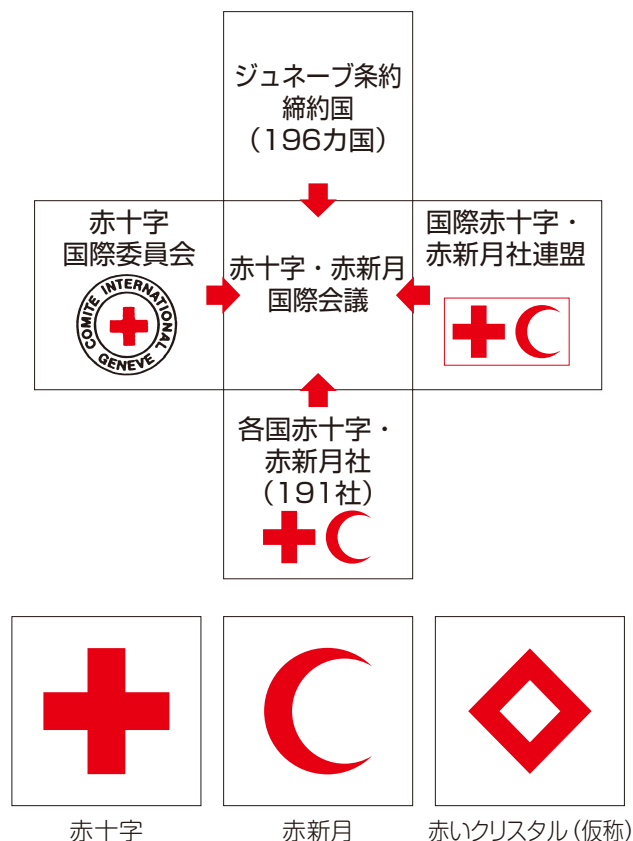
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカステリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動 の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8
(改正:第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人 道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公 平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中 立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独 立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世 界 性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。



CONTENTS



- 1 全国赤十字大会……………1
- 2 赤十字会員と活動資金状況……………1
- 3 災害救護……………2
- 4 国際活動……………8
- 5 救急法等の講習……………9
- 6 赤十字奉仕団……………14
- 7 青少年赤十字……………18
- 8 医療事業……………22
- 9 血液事業……………24
- 10 赤十字思想の普及……………25
- 11 香川県赤十字有功会……………27
- 12 評議員会……………28
- 13 決算概要……………28



全国赤十字大会～日本赤十字社創立140周年を迎えて～

大会は、平成29年5月25日（木）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約2,000人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催されました。香川県からは、32名の奉仕団員等の代表者が参会しました。

大会次第

●プロローグ

ビデオ上映「赤十字この一年」

●式典

- ・有功章ご授与
- ・厚生労働大臣祝辞
- ・社長表彰 他
- ・実践活動の報告

「平成28年度熊本地震災害 日本赤十字社／熊本赤十字病院の活動記録
～震源に最も近かった基幹災害拠点病院からの報告～」

（宮田 昭 熊本赤十字病院 副院長）

「紛争で傷ついたイラクの人々の命を救う

～赤十字国際委員会（ICRC）によるイラク紛争犠牲者救援事業に参加して～
（渡瀬 淳一郎 大阪赤十字病院 国際医療救援部副部長）



赤十字会員と活動資金状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。平成29年度においても、「人間を救うのは人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
平成25年度	95,490	2,752	98,242
平成26年度	93,707	2,659	96,366
平成27年度	92,092	2,562	94,654
平成28年度	83,453	2,623	86,076
平成29年度	83,446	2,661	86,107

活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
平成25年度	126,345,465	17,697,731	144,043,196	156,000,000
平成26年度	154,098,763	17,283,645	171,382,408	146,000,000
平成27年度	174,926,631	16,267,988	191,194,619	146,000,000
平成28年度	126,529,549	30,188,592	156,718,141	146,000,000
平成29年度	138,899,983	17,380,450	156,280,433	146,000,000



災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などを実施し、医療救護活動の万全に努めるとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣することとしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は次のとおりです。

救護班の編成（1班6人編成8個班）

（単位／人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	主事	計
1個班の編成基準		1	1	2	2	6
常備要員数		8	8	16	16	48

※必要に応じて、薬剤師・助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員として3人を任命しています。

dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位／人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師の内1人がチームリーダー、主事の内1人がサブリーダーとなります。

災害救護活動

県内に甚大な人的被害は無く、情報収集等に努め、災害に備えました。

①梅雨前線による大雨に伴う対応

平成29年7月5日(水)

支部職員（2人）待機・連絡調整

②台風5号の接近に伴う対応

平成29年8月7日(月)

支部職員（1人）待機・情報収集

③県内大雨に伴う対応

平成29年9月12日(火)

支部職員（1人）待機・情報収集

④台風18号の接近に伴う対応

平成29年9月17日(日)

支部職員（1人）待機・情報収集

※浸水被害の多く出た多度津町へボランティアセンターの運営支援や登録防災ボランティアへの緊急連絡を実施

・活動期間：9月21日(木)～9月25日(月)

香川県支部から派遣ボランティアリーダー等 8人

⑤台風21号の接近に伴う対応

平成29年10月21日(土)～23(月)

支部職員（2人）待機・情報収集





救護員に対する研修の実施

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月10日(月)	任命赤十字救護員	46	高松赤十字病院	
任命救護員研修会	4月10日(月)	任命赤十字救護員	39	高松赤十字病院	START 法とトリアージタグの記載と取扱い
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月16日(火)	赤十字救護員主事	10	香川県青年センター	無線機の取扱、救護所の設営、発電機の取扱、災害時の記録、救護に必要な技術の習得
こころのケア研修会	7月20日(木)	赤十字救護員	28	高松赤十字病院	講義「日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア」、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	第1回 9月24日(日)	赤十字救護員	58	高松赤十字病院	講義「救護員の具体的任務について」、グループワーク、災害発生から出動まで、机上シミュレーション、トリアージについて、応急手当、無線交信
	第2回 10月7日(土)	赤十字救護員	61	香川県青年センター	基礎行動、救護所開設、救護シミュレーション、担架操法、無線交信、DRASH テント等救護資機材点検・操作訓練





■ DRASH テント（大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できるフレーム
一体式救護テント）を用いた救護員実践研修の実施

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
救護員実践研修会	6月20日(火)	赤十字救護員	41	香川県青年センター	救護員としてDRASHテントの運用についての理解（学科研修、グループワーク、DRASHの展開実習等救護資機材操作、現場救護所シミュレーション）



■ 平成 29 年度日本赤十字社中国・四国ブロック研修会等への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
平成29年度日本赤十字社 中国・四国ブロック原子力 災害対応基礎研修会	1月24日(水) ～25日(木)	赤十字救護員	6	松江赤十字病院	講義（放射線防護の基礎知識、原子力 災害対策指針、放射線防護資機材につ いて）、デジタル個人線量計の使用方 法、防護服着脱方法
平成29年度日本赤十字社 中国・四国ブロック災害 対策本部要員研修会	2月22日(木) ～23日(金)	赤十字救護員	4	日赤愛媛県支部	災害対策本部の役割に災害救護リソ ース、通信の確保、災害対策本部の機能 と役割、本部の運営、災害時の記録、無 線・衛星携帯操作、クロノロジー、総合 シミュレーション





他機関の実施する災害救護訓練への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
香川県総合防災訓練	9月3日(日)	綾川町赤十字奉仕団	40	綾川町総合運動公園	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信、医薬品搬送、dERUの展開 非常食の炊き出し・配分
		赤十字防災ボランティア	64		
		赤十字救護員	12		
香川県石油コンビナート総合防災訓練	10月24日(火)	赤十字救護員	10	四国電力株式会社坂出事業所	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信
高松市消防局集団救急事案対応訓練	1月11日(木)	赤十字防災ボランティア	40	ウインズ高松第2駐車場	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信
		赤十字救護員	16		
香川県国民保護共同図上訓練	2月5日(月)	赤十字救護員	2	香川県庁丸亀市消防庁舎	コントローラー、連絡員

赤十字防災ボランティア活動状況

訓練・研修等に参加して災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）に参加しました。

香川県赤十字防災ボランティア活動状況

①登録人員（団体） 193人（個人登録） 4団体（団体登録）

②赤十字防災ボランティア基礎研修会

- 日 時 平成29年6月11日(日) 10:00～15:00
- 場 所 日赤香川県支部 ボランティア室
- 参 加 者 赤十字防災ボランティア 26人
- 研修内容 赤十字について、赤十字防災ボランティアについて
熊本地震災害活動報告、災害救護装備、支部倉庫見学
非常食の炊き出し、災害に役立つ応急手当



③防災キャンプ2017in屋島

- ・日 時 平成29年7月22日(土) 13:30～翌日9:00まで
- ・場 所 香川県立屋島少年自然の家
- ・参 加 者 赤十字防災ボランティア等 21人
- ・研修内容 香川県総合防災訓練に向けての救護資機材取扱
支部救護テント設営・発電機取扱・ロープワークの習得

④「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災や熊本地震の災害の記憶を風化させぬよう、県民の防災・減災意識の向上を目的に親子世代をターゲットとして開催しました。

防災ボランティア活動事例のパネル展示や災害への備えを身近に感じられるような体験型ブースやミニ講座を通して、防災・減災を考える機会としました。

- ・日 時 平成30年3月10日(土) 10:00～16:00
- ・場 所 さぬきこどもの国(高松市香南町)
- ・内 容
 - ・パネル展示・・・防災関連団体の活動をわかりやすく展示
 - ・ブース展開・・・参加団体が防災をテーマにした楽しい体験コーナー
 - ・ミニ講座・・・親子で学べる防災学習等を実施
- ・参 加 者 赤十字ボランティア等 8人
一般来場者 約600人



災害義援金の取扱状況

東日本大震災や、夏に発生した大雨、台風等といった国内の災害に対し、県民のみならず多額の義援金が寄せられました。

東日本大震災義援金	(74件)	767,098円
平成28年熊本地震災害義援金	(63件)	2,372,992円
平成28年糸魚川市大規模火事災害義援金	(5件)	101,839円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	(116件)	5,574,256円
秋田県大雨災害義援金	(11件)	220,699円
平成29年台風第18号災害義援金	(9件)	137,812円
平成29年台風第21号災害義援金	(4件)	103,111円

(合計) (282件) 9,277,807円

※東日本大震災義援金当初からの累計 (14,328件) 1,644,078,753円

※熊本地震災害義援金当初からの累計 (912件) 109,583,607円



災害等による被災者の援護

日本小型自動車振興会、日本自転車振興会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他、支部独自で毛布、バスタオル、ブルーシートなど救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、赤十字応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。



緊急セット
1世帯（4人分）

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下



災害救援物資の備蓄状況（平成30年3月31日現在）

品名	地区別	28年度 繰越数	本年度増減数				29年度末 備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	管理換え	配分数	転用		支部	地区等
毛布（枚）		4,743	—	—	52	70	4,621	4,121	500
緊急セット（個）		1,147	—	—	21	—	1,126	1,014	112
安眠セット（個）		1,333	—	—	—	12	1,321	1,284	37
バスタオル（枚）		872	—	—	50	—	822	650	172
ブルーシート（枚）		623	—	—	30	—	593	570	23
タオルケット（枚）		—	1,300	—	—	—	1,300	1,300	—

火災等の被災者並びに避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布（枚）		18	0	0	1	5	0	24	0	2	0	2	52
緊急セット（個）		11	0	0	0	2	1	4	0	1	0	2	21
安眠セット（個）		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

火災等の被災世帯並びに同災害による死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。（単位／千円）

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		220	0	0	40	20	20	70	100	40	20	410	940
弔慰金		60	0	0	60	20	20	20	40	20	0	40	280
中国帰国者見舞金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		280	0	0	100	40	40	90	140	60	20	450	1,220

臨時救護

第18回香川県障害者スポーツ大会等4か所に救護員等延10人を派遣し、負傷者11人の手当てをしました。

- ・第46回幼稚園まつり
- ・津田の松原 海水浴場
- ・第18回香川県障害者スポーツ大会
- ・青少年赤十字リーダー養成トレーニング・センター





日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」及び災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

国際救援

国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(128件)	946,092円
中東人道危機救援金	(3件)	2,624円
(合計)	(131件)	948,716円

開発協力

「海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、平成29年12月2日(土)に、高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場の高松市内2カ所において、青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月1日(金)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

●オープニングセレモニー

【青少年赤十字加盟校】

高松市立一宮幼稚園

●街頭募金参加団体

【青少年赤十字加盟校】

高松市下笠居こども園

高松市立高松第一小学校

高松市立下笠居小学校

高松市立桜町中学校

高松市立高松第一中学校

高松市立勝賀中学校

高松市立木太中学校

香川県立琴平高等学校

【赤十字奉仕団】

高松市赤十字奉仕団

穴吹学園学生赤十字奉仕団

香川県青年赤十字奉仕団

香川大学学生赤十字奉仕団

香川短期大学学生赤十字奉仕団

さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団

四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団

【その他】

久光製薬株式会社高松支店

「アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット支援事業」

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っています。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

「アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット支援事業」資金の拠出 704,065円
(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額) 7,000,000円



ラオスで実施された研修指導者を養成する研修の様子 ©Narendra/IFRC



赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では平成 29 年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

救 急 法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「一次救命処置」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

救急員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校 看護学科 2 年生	58	58
穴吹パティシエ福祉カレッジ 福祉学科、国際エステティック学科	22	16
香川看護専門学校 第 1・2 看護学科 2 年生	51	51
香川県警察学校 初任科第 87 期長期生	29	29
香川県警察学校 初任科第 87 期短期生	32	32
香川県立高松南高等学校 看護科 1.2 年生	70	69
香川県立飯山高等学校 看護科 3 年生	26	26
香川短期大学 生活文化学科 1 年、2 年生	30	25
四国医療専門学校 柔道整復学科 1 部 2 学年生	29	20
四国医療福祉専門学校 介護福祉学科 1 年生・臨床工学学科 2 年生	67	52
四国こどもととなの医療センター附属善通寺看護専門学校 看護科 2 年生	77	77
尽誠学園高等学校 衛生看護科 2 年生	40	39
支部主催教室（土日）（2 回）	95	92
支部主催教室（夜間）	17	17
高松赤十字病院	35	35
計 16 回	678	638



基礎講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
英明高等学校	32	32
香川県サッカー協会	23	23
香川県歯科医師会	99	97
支部主催教室	11	11
その他、救急法救急員養成講習会等含（19 回）	769	768
計 23 回	934	931



資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室（2 回）	83	83
計 2 回	83	83



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
綾川町一貫性教育研究会保健部会	20
綾川町萱原上西自治会	34
綾川町立昭和小学校	25
一ノ谷スポーツクラブ	30
宇多津町自治会連合会 (6回)	150
宇多津町ボランティア連絡協議会	200
宇多津町立宇多津北小学校 (2回)	145
英明高等学校 (5回)	544
香川県大手前中学・高等学校 (2回)	143
香川県教育委員会保健体育課	84
香川県教育センター	40
香川県警察本部	36
香川県県税事務所	30
香川県交通安全協会 (2回)	92
かがわ健康福祉機構	19
香川県指定自動車学校協会 (3回)	117
香川県水泳協会	20
香川県地区小型船安全協会	90
香川県中学校教育研究会学校保健部会	77
香川県中讃保健福祉事務所	30
香川県聴覚障害者福祉センター	6
香川県立香川西部養護学校	70
香川県立香川中央高等学校	40
香川県立香川中部養護学校	100
香川県立香川東部養護学校	70
香川県立香川丸亀養護学校	130
香川県立笠田高等学校 (2回)	121
香川県立川部みどり園	20
香川県立観音寺総合高等学校 (2回)	288
香川県立琴平高等学校 (3回)	281
香川県立坂出工業高等学校 (2回)	489
香川県立坂出高等学校	50
香川県立坂出商業高等学校 (2回)	185
香川県立斯道学園	26
香川県立志度高等学校	150
香川県立善通寺第一高等学校 (3回)	230
香川県立善通寺養護学校	100
香川県立高瀬高等学校	202
香川県立高松工芸高等学校 (3回)	240
香川県立高松高等学校	50
香川県立高松桜井高等学校 (3回)	290
香川県立高松商業高等学校	43
香川県立高松東高等学校 (3回)	245
香川県立高松南高等学校	84
香川県立高松養護学校	100
香川県立多度津高等学校 (2回)	230
香川県立津田高等学校 (2回)	133
香川県立飯山高等学校	50
香川県立丸亀高等学校 (3回)	355
香川県立盲学校	55
香川県立豊学校 (2回)	60
香川誠陵中学校・高等学校	40
香川大学教育学部附属高松中学校	121
香川大学教育学部附属特別支援学校	28
香川大学サイクリング部	24
香川労働基準協会 (10回)	195
かがわ被害者支援センター	10
株式会社パル技研	37
川崎重工工業株式会社坂出造船工場	65
観音寺市大野原中央公民館	20
観音寺市赤十字奉仕団	40
観音寺市立大野原中学校 (2回)	113

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
観音寺市立観音寺中学校 (2回)	120
観音寺市立豊田小学校	161
観音寺市立豊浜中学校	70
ことでんバス株式会社 (4回)	45
坂出市川津地区社会福祉協議会	30
坂出市立加茂小学校 (2回)	45
坂出市立東部中学校	103
さぬきこどもの国	32
さぬき市志度三井プラチナ会	16
さぬき市社会福祉協議会	70
さぬき市長尾西東町西ノ丁自治会	20
さぬき市立さぬき南小学校PTA	50
さぬき市立さぬき南中学校	29
さぬき市立志度中学校 (2回)	165
さぬき市長尾中学校 (2回)	117
四国管区警察学校 (7回)	356
四国工商株式会社 (3回)	75
四国電力株式会社総合研修所	64
四変テック株式会社	40
社会福祉法人萬象園	140
障害者支援施設ウインドヒル	15
世界救急法デー記念イベント	80
赤十字なんがでっきょん?セミナー (4回)	126
高松琴平電気鉄道株式会社 (12回)	230
高松市円座校区コミュニティ協議会	50
高松市川添婦人会	30
高松市香西地区自主防災会	40
高松市赤十字奉仕団川添分団	15
高松市赤十字奉仕団鬼無分団	45
高松市赤十字奉仕団下笠居分団	15
高松市赤十字奉仕団檀紙分団	78
高松市赤十字奉仕団古高松分団	15
高松市赤十字奉仕団牟礼分団	20
高松市花園地区体育協会	35
高松市立一宮小学校	40
高松市立植田小学校	11
高松市立太田中学校 (2回)	242
高松市立大野小学校	50
高松市立香川第一中学校 (3回)	213
高松市立勝賀中学校	40
高松市立川島小学校	30
高松市立川添小学校	25
高松市立木太小学校	30
高松市立木太中学校 (4回)	274
高松市立木太南小学校	40
高松市立協和中学校 (3回)	234
高松市立桜町中学校 (4回)	280
高松市立紫雲中学校	38
高松市立下笠居中学校 (2回)	196
高松市立新番丁小学校	35
高松市立高松第一中学校	59
高松市立玉藻中学校 (3回)	240
高松市立中央小学校	47
高松市立弦打小学校	30
高松市立古高松小学校	30
高松市立前田小学校PTA	70
高松市立屋島小学校	22
高松市立屋島中学校 (2回)	157
高松市立栗林小学校	70
高松赤十字病院 (3回)	92
高松丸亀町商店街振興組合	20
多度津町社会福祉協議会	30

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
多度津町白方地区児童館	60
多度津町手をつなぐ育成会	17
多度津町四箇地区児童館	50
東讃里山ボランティアガイド	20
特別養護老人ホーム香色苑	30
特別養護老人ホームさんさん荘	40
特別養護老人ホーム白百合荘	15
特別養護老人ホーム白山山荘	35
どんぐりネットワーク	20
直島町立直島中学校 (2回)	87
直島町立直島幼児学園	13
二番丁女性防火クラブ (2回)	90
日本赤十字社香川県支部 (9回)	356
日本赤十字社香川県支部観音寺市地区	20
日本赤十字社香川県支部まんのう町地区	40
東かがわ市社会福祉協議会	22
東かがわ市食生活改善推進協議会	54
東かがわ市立大川中学校 (2回)	110
東かがわ市立白鳥中学校	79
東かがわ市立引田中学校 (2回)	40
仏生山国際交流会	100
ふなおか園あすなろ会	13
丸亀市教育委員会	20
丸亀市健康福祉部健康課	39

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
丸亀シティーサービス協同組合	30
丸亀市富熊地区コミュニティ協議会	60
丸亀市立飯山南小学校	150
まんのう町赤十字奉仕団神野分団	35
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	80
三豊市赤十字奉仕団	17
三豊市立詫間中学校 (2回)	114
三豊市立比地大小学校	40
三豊市立三野津中学校 (2回)	112
計 261 回	14,307



水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

救助員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
香川県消防学校 消防学生	30	30
支部主催教室 7月コース (プール)	11	11
支部主催教室 10月コース (プール)	10	10
支部主催教室 津田の松原 (海)	9	9
計 4 回	60	60

資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室 (2回)	12	12
計 2 回	12	12

短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川県水泳協会	10
香川県地区小型船安全協会 (2回)	90
観音寺立豊浜小学校PTA	18
善通寺市立中央小学校	40
善通寺市立東部小学校 (3回)	140
高松市スポーツ振興事業団 (5回)	55
高松市立植田小学校 (2回)	86
高松市立香南小学校	50
高松市立国分寺南部小学校	30
高松市立三溪小学校	72
高松市立多肥小学校	35
高松市立屋島小学校 (2回)	179
高松市立塩江中学校	70
日本赤十字社香川県支部 (2回)	18
丸亀市立富熊小学校 (3回)	121
三木町立氷上小学校	80
三木町立平井小学校	24
フィットネスクラブレフコ丸亀店	12
ループしおのえ	16
計 31 回	1,146





健康生活支援講習



健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
英明高等学校 福祉系3年生	16	12
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	41	41
支部主催教室 (2回)	13	12
計 4 回	70	65

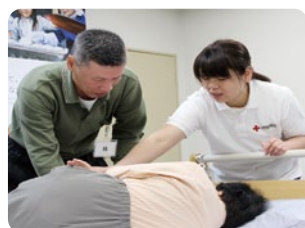
資格継続研修

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
支部主催教室 (2回)	3	3
計 2 回	3	3



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
大野原町更生保護婦人会	110
おたがい様高松	15
香川県立農業経営高等学校 (4回)	46
株式会社湯口装飾	20
観音寺市一ノ谷地区社会福祉協議会	60
坂出市赤十字奉仕団川津分団	30
さぬき市寺町いきいきサロン	30
さぬき市長尾西東町西ノ丁自治会	9
世界救急法デー記念イベント	100
善通寺市南部地区自主防災会	35
高松市木太町老人会3世代交流	70
高松市木太北部コミュニティセンター	80
高松市下笠居婦人会	100
高松市赤十字奉仕団	10
高松市赤十字奉仕団庵治分団	40
高松市赤十字奉仕団仏生山分団	30
高松市赤十字奉仕団古高松分団 (2回)	100
高松市退職公務員連盟	30
高松市原クリーンハイツ実年部	30
高松赤十字病院 (4回)	124
土庄町婦人会	40
日本赤十字社香川県支部 (2回)	44
東かがわ市赤十字奉仕団	20
東かがわ市婦人会	80
まちの保健室	13
丸亀市栗熊自主防災会	200
丸亀ボランティアサークルすみれ会	29
三木町役場	520
三豊市詫間町自治会女性部	25
老人保健施設	10
計 38 回	2,050



幼児安全法



子どもを社会の財産として大切に育てるために、「子どもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	11	10
支部主催教室 (2回)	24	20
計 3 回	35	30



資格継続研修

対象・主催等	受講者数	修了者数
支部主催教室(1回)	5	5
計1回	5	5



短期講習

対象・主催等	受講者数
一ノ谷地区社会福祉協議会	60
いのちの応援会(8回)	96
香川県教育センター	55
香川県子育て支援課	91
春日幼稚園	35
観音寺市愛育会	88
観音寺市豊浜社会福祉協議会	30
観音寺ファミリー・サポート・センター(2回)	17
子育てネットくすくす	25
子育てネットひまわり(2回)	44
こばと保育園	18
坂出一高幼稚園	40
さぬき市ファミリー・サポート・センター	6
小豆郡保育研究会	95
守里看護福祉専門学校(2回)	24
私立認可保育園連盟(2回)	180
神愛館(2回)	31
生活協同組合コープかがわ(2回)	19
世界救急法デー記念イベント	100
善通寺市南部地区自主防災会	35
善通寺市保健委員会	26
高松市役所子育て支援課	26
高松市立一宮小学校	120
高松市立香西幼稚園	60
たかまつファミリー・サポート・センター(6回)	88
中野保育所(2回)	100
二番丁すこやか教室	20
二番丁幼稚園	10
日本赤十字社香川県支部(5回)	114
花の宮保育所	10
東かがわ市保健課	38
ピノキオ館	15
丸亀市栗熊自主防災会	200
丸亀市東小川児童センター	30
丸亀市ファミリー・サポート・センター(3回)	20
みとよファミリー・サポート・センター(2回)	41
栗林子育てネットワークえるふあみりい	12
わははネット	91
わはは・ひろば香西(2回)	33
わはは・ひろば高松(2回)	38
計68回	2,181

赤十字救急法指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった指導力のある実働的な指導員を養成し、本県における赤十字救急法の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日時 平成29年11月25日(土)～26日(日) 事前説明会
平成30年 1月13日(土)～14日(日) 養成講習会
1月19日(金)～21日(日) //
- 平成30年 2月24日(土)～25日(日) 新任指導員研修会
- 場所 香川県社会福祉総合センター 7階 第二中会議室(事前説明会)
日本赤十字社香川県支部 ボランティア室(養成講習会・新任指導員研修会)
- 養成人員 20人





赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など赤十字のパイオニアとして活動を県内各地で展開しています。

地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

■ 組織及び団員数 17団（8市9町） 14,452人

区 分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	11	11	8	15	10	8	11	11	6	23	155分団
団員数	1,564	2,883	1,047	403	349	400	520	1,231	1,044	978	4,033	14,452人

主な活動内容

- ① 会員増強に関する活動
- ② 災害救護に関する活動
- ③ 救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④ 赤十字病院における活動
- ⑤ 献血推進に関する活動
- ⑥ 青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦ 社会福祉に関する活動
- ⑧ その他



研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加者(対象)	参加人数
本 社	赤十字奉仕団中央委員会	6月 1日～ 2日	東京都・本社	支部委員会 副委員長	1
	赤十字ボランティアリーダー研修会	8月26日～28日	東京都・国立オリンピック記念センター	三木町	1
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	2月 5日～ 7日	東京都・本社	支部委員会 委員	1
ブロック	中国・四国ブロック協議会	10月 5日～ 6日	岡山県	支部委員会 委員長	1
	中国・四国ブロック研修会（ボランティア・リーダー）	11月15日～17日	愛媛県	善通寺市、三豊市、木田郡	3
支 部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月29日	日赤香川県支部	支部委員	11
	赤十字奉仕団委員長会議	6月14日	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長、地区区分担当者	66
	世界救急法デー記念イベント	9月 9日	日赤香川県支部	各地区奉仕団員	118
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月20日	日赤香川県支部	支部委員	13
	赤十字奉仕団研修会（基礎）	2月 7日	香川県社会福祉総合センター	各市地区、町分区、各種赤十字奉仕団等	146

研修会の実施

○赤十字奉仕団研修会（基礎）

- ・ 日 時 平成30年2月7日(水) 10:00～15:00
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- ・ 参 加 者 各市町赤十字奉仕団員等 146名
- ・ 研修内容 講義／「赤十字の使命と活動」
講演／「災害時のボランティア活動・避難所運営について」
講師／高橋 真里氏
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
地域強化研究センター 技術補佐員



○地区・分区分赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。

また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

■ 研修内容

- 赤十字とボランティア
- 赤十字と災害救護
- 赤十字防災ボランティア
- 非常食の炊き出し
- 応急手当等

■ モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定 期 間 3年間
 指定奉仕団数 毎年3団以内
 重点活動内容 ①地域高齢者支援活動
 ②児童の健全育成活動
 ③非常災害に対する地域防災活動
 ④会員増強に関する特色ある活動
 ⑤その他必要な活動

指定年度	奉仕団名	活動内容
平成27年度	三木町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	直島町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
平成28年度	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
平成29年度	高松市赤十字奉仕団（川岡分団）	非常災害に対する地域防災活動



■ 青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

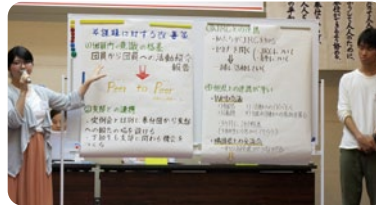
■ 組織及び団員数 9団 388人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

■ 主な活動内容

- ① 献血キャンペーン活動の実施
- ② 海外たすけあいキャンペーン活動
- ③ 支部実施行事（各種イベント等）への協力
- ④ 義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤ 救護訓練等への参加





研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加人数
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月 3日～4日	岡山県	2
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11月 3日～5日	高知県	3
支 部 ・ 協議会	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	4月22日	支部ボランティア室	38
	赤十字フェスタ	4月30日	高松丸亀町老番街前ドーム広場	53
	丸亀愛の広場	5月 4日	丸亀市保健福祉センター（ひまわり）	3
	坂出自動車学校イベント	6月 4日	坂出自動車学校	7
	防災ボランティア基礎研修会	6月11日	支部ボランティア室	2
	託児ボランティア研修会	6月17日	支部ボランティア室	1
	1日血液センター所長イベント	7月 2日	献血ルーム他	5
	防災キャンプIN屋島	7月22日	屋島少年自然の家	2
	青少年赤十字トレーニング・センター	8月 4日～6日	五色台少年自然センター	6
	香川県総合防災訓練	9月 3日	綾川町	3
	かがわ育児の日フェスティバル	10月 1日	さぬきこどもの国	4
	NHK海外たすけあいキャンペーン	12月 2日	高松市内	12
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月22日～25日	献血ルーム他	15

特 殊 奉 仕 団

香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 37人
- ②主 な 活 動 内 容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加



香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 118人
- ②主 な 活 動 内 容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事（各種イベント等）への協力、団員研修・交流



ファミリーマリンスクール

（赤十字水上安全法講習会：香川県地区小型船安全協会共催）開催

- ・日 時 平成29年7月23日（日）
- ・場 所 香川県立屋島少年自然の家
- ・内 容
 - レスキューボード親子体験
 - 一次救命処置（心肺蘇生・AED）
 - 着衣泳
- ・参 加 者 143人

赤十字安全奉仕団研修会開催

- ・日 時 平成29年12月16日（土）
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- ・内 容
 - ①「ボランティアとこころのケア～誰もができる災害時のこころのケア～」（講演）
高松赤十字病院 医療社会係長 島津昌代 氏
 - ②癒しのハンドケア・リラクゼーション ～こころと身体のリフレッシュ～
健康生活支援講習指導員 川股文子 氏、鶴川和美 氏
- ・参 加 者 25人



■ 香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

①組織及び団員数 1団 45人

②主な活動内容

- 施設へのケアサービス提供
(13回、参加ボランティア数 172人)
- 団員研修会の開催
(2回、参加者 41人)
- 団員の増強とケアサービスの普及、充実
- 支部実施行事(各種イベント等)への協力



■ 香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

①組織及び団員数 1団 96人

②主な活動内容

- 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
- 青少年赤十字加盟校への協力
- 香川県教育委員会への働きかけ
- 校長会・園長会等への働きかけ
- 赤十字地域奉仕団との連携



■ 香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しています。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

①組織及び団員数 1団 53人

②主な活動内容

- 支部実施行事(各種イベント等)への協力
- 団員研修・交流

■ 香川県赤十字託児ボランティア

赤十字幼児安全法講習を受けるお母さん方が、小さなお子様を連れて受講しづらい状況を受けて始まったのが託児ボランティア活動です。資格を問わず、有志のボランティアによって活動しています。

その他、高松赤十字病院における乳児健診時の託児などを行っています。

①登録人員 26人

②主な活動内容

- 幼児安全法講習時の託児実施
(6回、参加ボランティア数 18人)
- 高松赤十字病院乳児健診時における託児(毎週金)
- 託児ボランティア研修会の参加





青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

全国の保育所から高等学校まで約1万3千校、303万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

加盟状況

区分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	51	156	148	69	40	7	471
メンバー数	4,831	13,127	37,582	21,157	14,339	1,022	92,058



加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	102	高松市立三谷保育所	21	坂出市立川津愛児園	90
高松市立扇町保育所	152	高松市立多肥保育所	142	坂出市立松山保育園	67
高松市立宮脇保育所	51	高松市立林保育所	155	坂出市立江尻保育所	53
高松市立松島保育所	122	高松市立川島保育所	139	坂出市立府中保育所	50
高松市立福岡保育所	69	高松市立西植田保育所	43	坂出市立西部保育所	27
高松市立桜町保育所	173	高松市立東植田保育所	26	坂出市立南部保育所	114
高松市立田村保育所	46	高松市立大野保育所	193	坂出市立加茂保育所	67
高松市立鶴尾保育所	50	高松市立浅野保育所	119	育愛館	152
高松市立太田保育所	145	高松市立川東南保育所	37	金花保育園	147
高松市立木太保育所	144	高松市立国分寺北部保育所	113	豊城福祉会坂出保育園	99
高松市立古高松保育所	167	高松市立国分寺南部保育所	90	林田保育園	112
高松市立屋島保育所	130	高松市立牟礼保育所	109	みどり保育園	141
高松市立下笠居西部保育所	14	高松市立田井保育所	65	愛集苑保育所	17
高松市立下笠居東部保育所	27	松福祉会城東保育園	118	※ さぬき市立長尾保育所	101
高松市立香西保育所	175	中野保育所	160	土庄町立北浦保育所	21
高松市立弦打保育所	150	こぶし花園保育園	111	土庄町立大鐸保育所	12
高松市立鬼無保育所	98	花ノ宮保育園	99	※ 土庄町立大部保育所	6
				計51所	4,831

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	28	ときわ幼稚園	96	丸亀市立本島幼稚園	1
高松市立前田幼稚園	20	高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	225	丸亀市立あやうたこども園	105
高松市立川添幼稚園	54	高松聖ヤコブ幼稚園	146	丸亀市立飯山こども園	191
高松市立林幼稚園	136	四国高松学園高松東幼稚園	120	聖母学園丸亀聖母幼稚園	106
高松市立三溪幼稚園	58	香川県百華学園勅使百華幼稚園	276	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	238
高松市立香西幼稚園	74	のぞみ学園のぞみ幼稚園	110	香川大学教育学部附属幼稚園	76
高松市立一宮幼稚園	63	栗林学園栗林幼稚園	312	坂出市立坂出中央幼稚園	84
高松市立多肥幼稚園	89	二番丁学園二番丁幼稚園	145	坂出市立林田幼稚園	34
高松市立川岡幼稚園	23	亀阜学園亀阜幼稚園	155	坂出市立加茂幼稚園	22
高松市立円座幼稚園	66	高松学園高松幼稚園	204	坂出市立府中幼稚園	15
高松市立檀紙幼稚園	66	屋島教会学園屋島教会幼稚園	100	坂出市立川津幼稚園	30
高松市立弦打幼稚園	50	聖母学園高松聖母幼稚園	128	坂出市立松山幼稚園	30
高松市立鬼無幼稚園	20	聖母学園桜町聖母幼稚園	204	坂出市立瀬居幼稚園	1
高松市下笠居こども園	83	相愛学園相愛幼稚園	278	ルンビニ幼稚園	59
高松市立木太幼稚園	127	小山学園愛育幼稚園	71	坂出一高幼稚園	116
高松市立山田幼稚園	57	青空幼稚園	135	善通寺市立中央幼稚園	86
高松市立春日幼稚園	52	百華学園太田百華幼稚園	253	善通寺市立西部幼稚園	55
高松市立木太北部幼稚園	71	光華学園光華幼稚園	162	善通寺市立南部幼稚園	62
高松市庵治こども園	125	新田学園新田幼稚園	137	善通寺市立東部幼稚園	86
高松市塩江こども園	40	らく楽寺井幼稚園	236	善通寺市立北幼稚園	8
高松市はらこども園	147	国東学園くにと幼稚園	331	善通寺市立竜川幼稚園	174
高松市立栗山幼稚園	60	やしま学園やしま幼稚園	231	善通寺市立筆岡幼稚園	74
高松市立田井幼稚園	24	古高松学園つくし幼稚園	65	善通寺市立吉原幼稚園	59
高松市立大町幼稚園	24	まゆみ学園まゆみ幼稚園	92	聖母学園善通寺聖母幼稚園	45
高松市立大野幼稚園	41	サンシャインこどもの森	25	観音寺市立観音寺幼稚園	214
高松市立浅野幼稚園	34	丸亀市立西幼稚園	72	観音寺市立柞田幼稚園	64
※ 高松市川東こども園	116	丸亀市立城北幼稚園	18	観音寺市立豊田幼稚園	17
高松市香南こども園	219	丸亀市立城埦幼稚園	103	観音寺市立一ノ谷幼稚園	28
高松市立国分寺北部幼稚園	101	丸亀市立城東幼稚園	98	観音寺市立大野原幼稚園	234
高松市立国分寺南部幼稚園	104	丸亀市立辰原幼稚園	89	観音寺市立豊浜幼稚園	119
高松中央高等学校高松中央高校幼稚園	67	丸亀市立郡家幼稚園	164	聖母学園観音寺聖母幼稚園	103

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
さぬき市立津田幼稚園	41	三豊市立大見幼稚園	51	三木町立田中幼稚園	21
さぬき市立鶴羽幼稚園	18	三豊市立豊中幼稚園	271	※ 三木町立氷上幼稚園	75
さぬき市立さぬき南幼稚園	65	三豊市立詫間幼稚園	111	三木町立白山幼稚園	49
さぬき市立志度幼稚園	75	三豊市立松崎幼稚園	27	三木学園あおば幼稚園	140
さぬき市立さぬき北幼稚園	30	三豊市立大浜幼稚園	5	直島町直島幼児学園	76
さぬき市立寒川幼稚園	71	三豊市立平石幼稚園	78	宇多津町立宇多津幼稚園	97
さぬき市立長尾幼稚園	74	三豊市立曾保幼稚園	4	※ 綾川町立粉所幼稚園	13
さぬき市立造田幼稚園	36	三豊市立財田幼稚園	55	青山幼稚園	168
聖母学園長尾聖母幼稚園	32	土庄町立土庄幼稚園	42	香川短期大学附属幼稚園	134
東かがわ市立福栄やまびこ園	17	土庄町立洲崎幼稚園	31	まんのう町立高篠こども園	57
東かがわ市丹生こども園	107	土庄町立大鐸幼稚園	21	まんのう町立四条こども園	84
三豊市立二ノ宮幼稚園	18	土庄町立大部幼稚園	5	まんのう町立満濃南こども園	176
三豊市立比地二幼稚園	51	土庄町立北浦幼稚園	8	まんのう町立長炭こども園	91
三豊市立上高瀬幼稚園	93	土庄町立四海幼稚園	17	まんのう町立仲南こども園	87
三豊市立勝間幼稚園	49	小豆島町立星城幼稚園	29	まんのう町立琴南こども園	44
三豊市立麻幼稚園	31	小豆島町立安田幼稚園	27	琴平町立南幼稚園	42
三豊市立辻幼稚園	24	小豆島町立苗羽幼稚園	20	琴平町立北幼稚園	26
三豊市立河内幼稚園	8	小豆島町立旭幼稚園	10	多度津町立四箇幼稚園	56
三豊市立大野幼稚園	30	小豆島町立福田幼稚園	3	多度津町立白方幼稚園	10
三豊市立吉津幼稚園	57	小豆島町立小豆島こどもセンター	98	多度津町立豊原幼稚園	82
三豊市立下高瀬幼稚園	57	三木町立平井幼稚園	100	多度津町立多度津幼稚園	46
				計 156 所	13,127

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	610	丸亀市立城東小学校	14	東かがわ市立福栄小学校	43
高松市立新番丁小学校	17	丸亀市立城辰小学校	354	東かがわ市立大内小学校	417
高松市立亀阜小学校	14	丸亀市立本島小学校	10	三豊市立二ノ宮小学校	77
高松市立栗林小学校	22	丸亀市立郡家小学校	794	三豊市立比地小学校	154
高松市立花園小学校	276	丸亀市立飯野小学校	309	※ 三豊市立勝間小学校	147
高松市立高松第一小学校	658	丸亀市立垂水小学校	381	※ 三豊市立麻小学校	149
高松市立鶴尾小学校	7	丸亀市立小手島小学校	1	※ 三豊市立山本小学校	442
高松市立太田小学校	809	丸亀市立富熊小学校	232	三豊市立吉津小学校	154
高松市立木太小学校	522	丸亀市立栗熊小学校	125	※ 三豊市立下高瀬小学校	184
高松市立古高松小学校	560	丸亀市立岡田小学校	10	※ 三豊市立大見小学校	54
高松市立屋島小学校	437	丸亀市立飯山北小学校	631	※ 三豊市立笠田小学校	123
高松市立前田小学校	224	丸亀市立飯山南小学校	362	三豊市立本山小学校	123
高松市立川添小学校	395	香川大学教育学部附属坂出小学校	415	三豊市立上高野小学校	98
高松市立林小学校	139	坂出市立坂出小学校	551	三豊市立比地大小学校	95
高松市立三溪小学校	436	坂出市立東部小学校	136	※ 三豊市立詫間小学校	431
高松市立仏生山小学校	519	坂出市立金山小学校	182	三豊市立松崎小学校	124
高松市立一宮小学校	750	坂出市立西庄小学校	58	※ 三豊市立大浜小学校	18
高松市立多肥小学校	22	坂出市立林田小学校	332	三豊市立仁尾小学校	243
高松市立川岡小学校	293	坂出市立加茂小学校	200	※ 三豊市立曾保小学校	18
高松市立円座小学校	713	坂出市立府中小学校	143	土庄町立土庄小学校	558
高松市立檀紙小学校	554	坂出市立川津小学校	6	土庄町立豊島小学校	24
高松市立弦打小学校	513	坂出市立松山小学校	200	小豆島町立星城小学校	119
高松市立鬼無小学校	8	坂出市立瀬居小学校	4	小豆島町立安田小学校	152
高松市立男木小学校	5	坂出市立岩黒小学校	1	小豆島町立苗羽小学校	7
高松市立川島小学校	488	善通寺市立東部小学校	265	小豆島町立池田小学校	183
高松市立十河小学校	107	善通寺市立中央小学校	216	三木町立平井小学校	573
高松市立東植田小学校	38	善通寺市立西部小学校	142	三木町立田中中学校	96
高松市立植田小学校	87	善通寺市立南部小学校	165	三木町立氷上小学校	508
高松市立中央小学校	917	善通寺市立筆岡小学校	230	三木町立白山小学校	312
高松市立太田南小学校	1004	観音寺市立観音寺小学校	552	直島町立直島小学校	6
高松市立木太南小学校	205	観音寺市立伊吹小学校	9	宇多津町立宇多津小学校	457
高松市立古高松南小学校	664	観音寺市立高室小学校	127	宇多津町立宇多津北小学校	633
高松市立屋島東小学校	23	観音寺市立常磐小学校	402	綾川町立綾上小学校	41
高松市立屋島西小学校	424	観音寺市立豊田小学校	129	綾川町立昭和小学校	6
高松市立木太北部小学校	411	観音寺市立栗井小学校	68	綾川町立陶小学校	56
高松市立塩江小学校	97	観音寺市立柞田小学校	74	綾川町立滝宮小学校	346
高松市立庵治小学校	182	観音寺市立一ノ谷小学校	263	綾川町立羽床小学校	63
高松市立牟礼小学校	326	観音寺市立大野原小学校	524	まんのう町立琴南小学校	69
高松市立牟礼北小学校	434	観音寺市立豊浜小学校	350	まんのう町立高篠小学校	195
高松市立牟礼南小学校	220	さぬき市立津田小学校	210	まんのう町立四条小学校	222
高松市立大野小学校	7	さぬき市立さぬき南小学校	257	まんのう町立満濃南小学校	213
高松市立浅野小学校	17	さぬき市立志度小学校	548	まんのう町立長炭小学校	103
高松市立香南小学校	390	さぬき市立さぬき北小学校	8	まんのう町立仲南小学校	184
高松市立国分寺北部小学校	16	さぬき市立神前小学校	100	琴平町立榎井小学校	107
高松市立国分寺南部小学校	210	さぬき市立石田小学校	192	多度津町立四箇小学校	317
丸亀市立城乾小学校	262	さぬき市立長尾小学校	459	多度津町立白方小学校	43
丸亀市立城坤小学校	601	さぬき市立造田小学校	190	多度津町立豊原小学校	480
丸亀市立城北小学校	8	東かがわ市立引田小学校	240	多度津町立多度津小学校	292
丸亀市立城西小学校	509	東かがわ市立本町小学校	193	計 148 所	37,582
丸亀市立城南小学校	573	東かがわ市立白鳥小学校	36		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
※ 香川大学教育学部附属高松中学校	358	高松市立香南中学校	222	東かがわ市立白鳥中学校	217
※ 香川県立高松北中学校	354	高松市立国分寺中学校	777	東かがわ市立大川中学校	344
高松市立桜町中学校	814	丸亀市立西中学校	807	三豊市立高瀬中学校	401
高松市立紫雲中学校	697	丸亀市立本島中学校	8	三豊市立三野津中学校	268
高松市立玉藻中学校	624	丸亀市立綾歌中学校	293	三豊市立豊中中学校	300
高松市立高松第一中学校	314	丸亀市立飯山中学校	536	三豊市立詫間中学校	314
高松市立鶴尾中学校	10	香川大学教育学部附属坂出中学校	360	三豊市立仁尾中学校	169
高松市立屋島中学校	520	坂出市立坂出中学校	10	三豊市立和光中学校	100
高松市立協和中学校	594	坂出市立東部中学校	21	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	359
高松市立龍雲中学校	18	坂出市立白峰中学校	469	土庄町立土庄中学校	268
高松市立勝賀中学校	672	坂出市立瀬居中学校	16	土庄町立豊島中学校	9
高松市立一宮中学校	99	坂出市立若黒中学校	2	小豆島町立小豆島中学校	302
高松市立香東中学校	777	坂出市立櫃石中学校	1	三木町立三木中学校	36
高松市立下笠居中学校	127	善通寺市立西中学校	306	直島町立直島中学校	54
高松市立男木中学校	3	観音寺市立観音寺中学校	356	宇多津町宇多津中学校	534
高松市立山田中学校	623	観音寺市立中部中学校	491	綾川町立綾南中学校	492
高松市立太田中学校	229	観音寺市立伊吹中学校	6	まんのう町立満濃中学校	8
高松市立古高松中学校	576	観音寺市立大野原中学校	315	琴平町立琴平中学校	190
高松市立木太中学校	812	観音寺市立豊浜中学校	9	※ 多度津町立多度津中学校	552
高松市立塩江中学校	64	さぬき市立さぬき南中学校	400	大手前高松中学校	106
高松市立庵治中学校	92	さぬき市立志度中学校	472	香川誠陵中学校	195
高松市立牟礼中学校	414	さぬき市立長尾中学校	329	大手前丸亀中学校	342
高松市立香川第一中学校	213	東かがわ市立引田中学校	131	香川県藤井中学校	256
				計 69 所	21,157

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立三本松高等学校	41	香川県立農業経営高等学校	337	藤井学園寒川高等学校	595
香川県立津田高等学校	412	香川県立坂出商業高等学校	514	高松中央高等学校	8
香川県立志度高等学校	385	香川県立坂出高等学校	791	英明高等学校	489
香川県立石田高等学校	360	香川県立坂出工業高等学校	419	大手前高松高等学校	525
香川県立三木高等学校	37	香川県立飯山高等学校	27	香川誠陵高等学校	362
香川県立高松北高等学校	51	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	382
香川県立高松高等学校	321	香川県立丸亀城西高等学校	639	大手前丸亀高等学校	398
香川県立高松工芸高等学校	23	香川県立善通寺第一高等学校	674	香川県藤井高等学校	11
香川県立高松商業高等学校	942	香川県立琴平高等学校	599	尽誠学園高等学校	752
香川県立高松東高等学校	800	香川県立多度津高等学校	604	四国学院大学香川西高等学校	14
香川県立高松南高等学校	70	香川県立笠田高等学校	360	禅林学園高等学校	89
香川県立高松西高等学校	12	香川県立高瀬高等学校	449	香川高等専門学校校舎間キャンパス	1
香川県立高松桜井高等学校	837	※ 香川県立観音寺総合高等学校	26	計 40 所	14,339
香川県立香川中央高等学校	46	高松市立高松第一高等学校	909		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立聾学校	42	※ 香川県立香川丸亀養護学校	211	香川大学教育学部附属特別支援学校	60
※ 香川県立香川中部養護学校	359	香川県立善通寺養護学校	134	計 7 所	1,022
※ 香川県立高松養護学校	115	※ 香川県立香川西部養護学校	101		

研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加者 (対象)	参加人数 (予定)
本 社	全国指導者協議会総会・研修会	6月29日～30日	東京都・日赤本社	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会	7月 5日～ 6日	東京都・日赤本社	賛助奉仕団委員長	1
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	7月23日～25日	東京都・国立オリンピック記念センター	指導者	1
	指導者中央講習会 (隔年開催)	11月25日～26日	東京都・日赤本社	指導者	2
	指導主事対象研究会	1月10日～11日	東京都・日赤本社	指導主事	1
	スタディー・センター	3月23日～28日	山梨県・山中湖村東照館	高校生メンバー	(2)
ブロック	四国ブロック高校生研究協議会	8月18日～20日	徳島県	四国高校生メンバー指導者	8
	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月12日～13日	島根県	中・四国賛助奉仕団員	2
	中国・四国ブロック指導者協議会	10月24日～25日	徳島県	指導者協議会役員支部職員 ※台風接近のため中止	中止
支 部 ・ 協議会	香川県指導者協議会役員会	4月25日	日赤香川県支部	指導者協議会役員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	4月26日	日赤香川県支部	賛助奉仕団役員	8
	赤十字フェスタ (世界赤十字デー周知キャンペーン)	4月30日	高松丸亀町壱番街前ドーム広場	青少年赤十字メンバー指導者	44
	香川県賛助奉仕団総会	5月 9日	日赤香川県支部	賛助奉仕団員	9
	香川県指導者研修会	6月22日	香川県社会福祉総合センター	指導者・賛助奉仕団員	31
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月 9日	日赤香川県支部	指導者	5
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7月10日	日赤香川県支部	指導者・賛助奉仕団員	10
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 4日～ 6日	香川県立五色台少年自然センター	小・中・高メンバー指導者	110
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会 (反省会)	9月 1日	日赤香川県支部	指導者	7
	香川県指導者協議会役員会	9月29日	日赤香川県支部	指導者協議会役員	8
	香川県賛助奉仕団役員会	9月29日	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	6
	研究発表会	11月 1日	高松市立協和中学校	指導者等	300
	香川県指導者協議会役員会	3月20日	日赤香川県支部	指導者協議会役員	(10)
	香川県賛助奉仕団役員会	3月20日	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	(26)

■ 青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場での青少年赤十字の取入れ方について、また、防災教育教材の活用方法について、認識を一層深めて頂き、学校づくり・子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催しました。

- ・日 時 平成29年6月22日(木) 14:00～16:00
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室
- ・講演内容 「香川県の災害について」
- ・講 師 金田義行氏(香川大学 地域強靱化研究センター長)
- ・参 加 者 31人(青少年赤十字加盟校指導者等)



■ 青少年赤十字リーダー養成トレーニング・センターの開催

リーダーとなる児童・生徒の養成を目的として知識、技術、態度の面から、赤十字と青少年赤十字について集中的に学習をすすめました。

特に、“なすことをもって学ぶ” 集団生活の活動体験を通して、自主性を養い、学校や地域社会に役立つ青少年の育成を目指しました。

- ・日 時 平成29年8月4日(金)～6日(日)
- ・場 所 香川県立五色台少年自然センター
- ・学習活動
 - ①赤十字について(歴史、組織、事業、原則、標章等)
 - ②青少年赤十字について(歴史、活動等)
 - ③体験学習(健康安全プログラム等)
 - ④ボランティア・サービスの実践
 - ⑤グループ・ワーク学習(ワーク・ショップ)
- ・参 加 者 110人(小・中・高メンバー、指導者、スタッフ)



■ 青少年赤十字研究推進校の指定

加盟校における青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、未加盟校への啓発を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定(2年間)し、研究を委嘱しました。

■ 指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
平成28年度	平成28年度～ 平成29年度	みんながもれなく学び合う授業づくり ～協同学習による授業改善～	高松市立協和中学校
平成29年度	平成29年度～ 平成30年度	主体的によりよい生き方を探求し、 これからの社会を生きる力を育む道徳教育	高松市立太田南小学校

■ 研究発表会の開催

- ・日 時 平成29年11月1日(水) 14:00～16:30
- ・開催校 高松市立協和中学校
- ・参加者 教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等約300人





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC（包括医療支払制度）への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入やその他高度医療機器の導入、電子カルテの更新、造血細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）の認定等、診療機能の強化を行うとともに患者サービスの向上に努め、高度専門医療を提供する病院として質の高い医療の提供に努めています。



病床数 576床（一般病床568床 結核病床8床）

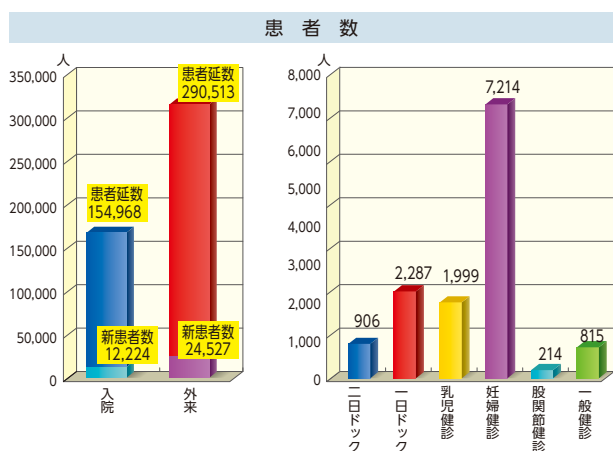
診療科目

- 血液内科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 呼吸器内科
- 小児科
- 消化器外科
- 胸部・乳腺外科
- 小児外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 腎臓外科(臓器移植)
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 歯科口腔外科
- 精神科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 放射線科
- 病理診断科 (26診療科)

職員数 (平成30年3月31日現在)

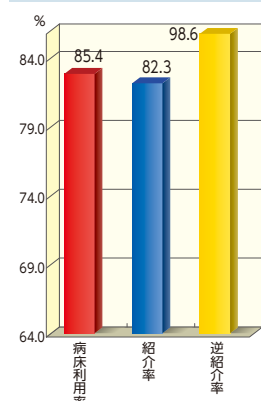
- 医師 174人
- 医療技師 168人
- 看護師・助産師 547人
- 事務職員 188人
- その他職員 69人

業務実績 (平成29年度)

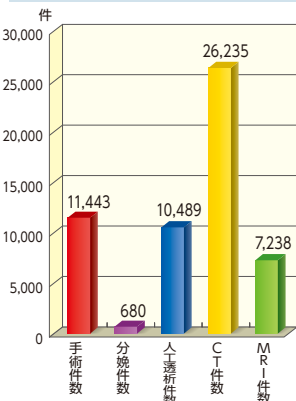


一日平均入院患者数	424.6人
一日平均外来患者数	1195.5人
平均在院日数	12.6日

病床利用率・紹介率



手術・分娩・検査件数



主な指定、施設基準

- 災害拠点病院 (地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 7対1入院基本料
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

その他認定取得

- (財) 日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート (病院就労環境評価・認証)
- 卒後臨床研修評価機構認定施設

医療の質の向上

- ① 医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導体制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
平成29年度 初期11名、後期5名
 - 腫瘍内科外来の開設
 - 医師事務支援体制の充実 (医師の外来業務負担軽減)
平成30年3月31日現在、外来クラーク39名
- ② 看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
平成29年度新人看護師24名 (助産師1名を含む)
 - 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
平成30年3月31日現在 認定看護師21名
専門看護師2名
 - 特定行為研修修了看護師の配置
平成30年3月31日現在 1名
 - 病棟クラーク (看護業務の事務支援スタッフ) の拡充
平成30年3月31日現在 9名
 - 診療報酬担当看護師の育成
平成30年3月31日現在 14名

- ③医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 作業療法士（OT）、理学療法士（PT）、言語療法士（ST）による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの充実、日曜リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
 - 介護福祉士の重点配置
- ④チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
 - モーニングセミナー、ランチョンセミナーの継続的開催
 - チーム医療への事務職員の積極的な参画
- ⑤地域医療支援病院としての認定維持と病診・病病連携の強化
 - 顔の見える医療連携推進のために「高松赤十字病院地域連携フォーラム」の継続開催
 - 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
 - 地域連携の前方・後方・双方向の支援体制強化
 - 逆紹介の推進（平成29年度逆紹介率98.6%）
 - 入退院センターの多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科）
 - 患者相談支援センターの拡充
 - 地域連携ニュース（医師向け）及び患者図書室広報誌「こもれび」（患者向け）の継続発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥地域がん診療連携拠点病院として地域の医療機関との連携強化
 - 地域連携パスの推進
 - セカンドオピニオン外来の推進
 - 緩和医療の推進
- ⑦救急医療の充実
 - 三次救急医療認定取得に向けての施設整備と実績の蓄積
 - 救急医療スタッフの拡充
 - 24時間診療体制の維持
 - ドクターカーの有効活用
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - 救急隊との連携強化（合同勉強会開催）
 - 日直業務体制の強化
- ⑧周産期医療の強化
 - 地域周産期母子医療センターとしての運営強化
 - 助産師外来の拡充
- ⑨診療の質の充実
 - クリニカルインジケーターの活用
 - 診療録管理体制の強化
 - 検査部門における国際規格（ISO15189）取得に向けての準備
- ⑩医療安全管理体制の強化
 - 医療事故の防止体制強化
 - 医療事故調査制度に対応した院内事故発生時のマニュアル整備
 - 医療安全の研修会参加
 - 研修、セミナー、ワークショップを活用した医療安全の推進
 - インシデント（事件）、アクシデント（事故）報告の徹底
- ⑪院内感染防止対策の強化

- 新採用職員に対する院内感染対策の基本的知識の啓発継続
 - 講習会、研修会での職員に対する教育の徹底
- ⑫救護、救援体制の強化
 - 医療救護活動の体制強化
 - 災害対策マニュアルの再検討
 - 他の医療機関、企業や周辺地域との大規模災害時の応援体制づくり
 - 全職員の参加による大規模災害を想定した訓練、関係諸機関と連携した訓練の実施 平成30年1月18日（木）
 - ⑬広報の充実
 - 病院情報の各医療機関、地域住民への発信拡充
 - 医師、看護師等の職員確保に向けたリクルート情報の発信、SNSの活用
 - 「診療のご案内」の各医療機関への配布
 - メールマガジン読者拡大と医療関係者へ向けての配信

患者サービスの向上

- ①女性外来の推進、拡充
 - 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制（産婦人科（火）、泌尿器科（水）、胸部・乳腺外科（金））
- ②患者への情報提供の推進
 - ホームページ、広報誌「なんがでっきょん」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
 - 市民・県民に向けた健康維持の公開講座（健康講話十二講）
- ③接遇能力の向上
 - 職員の接遇研修の強化
 - 患者満足度調査の実施
 - ご意見箱の設置
- ④待ち時間の短縮
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）、「まもなくコール」の活用
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
- ⑤人間ドックの充実
 - オプション検査の追加
- ⑥病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバス
- ⑦コンシェルジュの適正配置

診療基盤の整備

- ①新東館（仮称）実施設計
- ②高度医療機器の更新並びに必要な医療機器の新規導入による診療機能の向上
- ③ハイブリッド手術室の充実した運用
 - 平成29年7月TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）の施設認定取得
- ④本館（本8、9、10病棟）と無菌病室の効果的運用
- ⑤増床後のHCU病室の効果的運用

高松赤十字病院

〒760-0017 高松市番町4丁目1番3号

TEL 087-831-7101

ホームページ：http://www.takamatsu.jrc.or.jp/



320列CT



ハイブリッド手術室



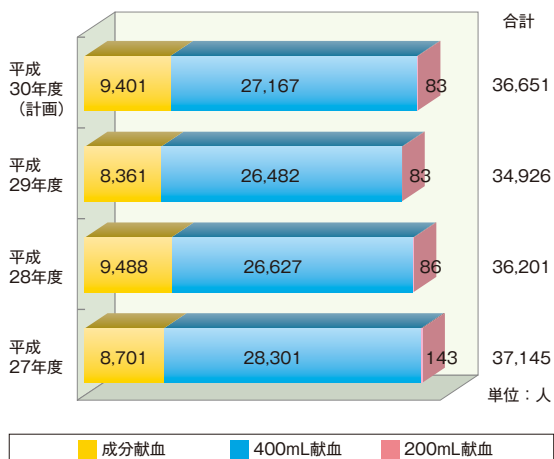
分娩監視装置
（院内助産所設備
整備事業補助金）



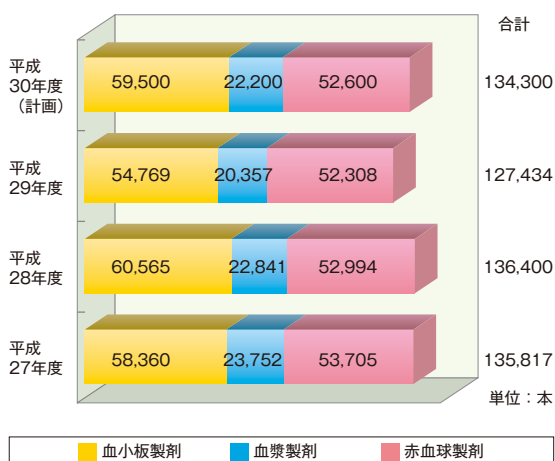
分娩台（院内助産所設備整備事業補助金）

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

県内献血実績（人数）



県内輸血用血液供給実績（200mL換算本数）



献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
平成30年度（計画）	321台	55.0人	363日	52.3人
平成29年度	319台	55.7人	359日	47.8人
平成28年度	319台	55.9人	362日	50.7人
平成27年度	350台	53.6人	363日	50.6人

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1

TEL 087-881-1500

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/csk/kagawa/>

献血ルーム“オリーブ”

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3

高松丸亀町参番街東館3F

TEL 087-821-2300

愛の血液助け合い運動

日本赤十字社では、広く国民各層に献血思想の普及を図ることを目的として、7月の1ヵ月間「愛の血液助け合い運動」を展開しました。本県においても7月・8月の2ヵ月を「愛の血液助け合い運動」月間とし、平成29年7月2日には香川オリブガイナースの2選手に「一日血液センター所長」を委嘱し、街頭での献血啓発を行い献血推進を県民運動として盛り上げました。また、より一層の推進を図るため平成29年7月31日、香川県庁において香川県献血運動推進大会を開催しました。

全国学生クリスマス献血キャンペーン

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、今年も学生のアイデアを凝らしたイベントを平成29年12月7日及び20日から25日にかけて実施しました。

はたちの献血キャンペーン

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、平成30年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

若年層への普及啓発

少子高齢化による献血者減少に対応するため、将来の献血を担う若年層を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前講座」及び「小学生親子血液センター見学教室」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

複数回献血者の確保

安全な血液を安定的に確保するため、複数回献血者（年間複数回献血）を募集しました。複数回献血者にはメールにより、イベント情報等のお知らせや輸血用血液に不足が生じた場合の献血依頼を発信しました。

低ヘモグロビン血者等に対する健康相談事業

低ヘモグロビン血で献血ができなかった方に栄養士が食事・生活面について指導し、再度献血にご協力いただくために栄養相談を実施しました。また、他の理由により献血できなかった方にも、健康維持・促進を図り献血への協力を得るために健康相談を実施しました。

献血協賛企業活動の推進

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

各種媒体による広報

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。



社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。



赤十字思想の普及

「世界赤十字デー」記念事業（赤十字フェスタ2017）の実施

5月8日の世界赤十字デーを中心に「赤十字フェスタ」を開催し、赤十字思想の普及啓発キャンペーンを展開し、この機会に広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的としました。

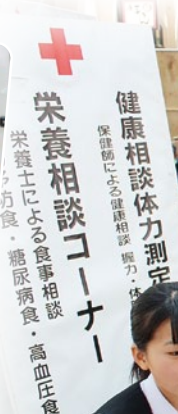
日本赤十字社の最も重要な活動は、災害救護活動です。その資機材等を一般の方に公開するとともに、熊本地震における活動パネルを展示し、防災にも関心をお寄せいただく機会となるよう実施しました。

●赤十字フェスタ2017の開催

- 実施団体 日本赤十字社香川県支部 高松赤十字病院 香川県赤十字血液センター
- 日 時 平成29年4月30日(日) 11:00～15:00
- 場 所 高松丸亀町壱番街前ドーム広場
- 内 容
 - 保健師による健康相談・体力測定コーナー 握力・血圧・体脂肪測定
 - 栄養士による栄養相談コーナー 食事相談
 - 献血コーナー 献血ルーム（オリーブ）にて献血の呼び掛け
 - 講習会体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - リラクゼーションコーナー コミュニケーションで心身のストレス軽減
 - ポップコーンコーナー 来場者に無料配布
 - キャンペーンコーナー
 - ①熊本救護活動等の写真展
 - ②救護車両展示
 - ③子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ④香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力 二番丁幼稚園 高松市立勝賀中学校 香川県立高松南高等学校 尽誠学園高等学校
- 参 加 者 赤十字ボランティア等 145人
一般来場者 約3,100人

当日の青少年赤十字メンバーによる募金等は45,356円となりました。

これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



■「赤十字世界救急法デー (World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法デー)であることから、この機会に広く県民に救急法についてアピールすることを目的に、下記のとおり記念イベントを実施し、参加者にAEDの操作体験を含めて救命手当の重要性について認識を深めていただく機会としました。また、併せて高松赤十字病院「県民公開講座」として赤十字に触れていただける機会としました。

- ・日 時 平成29年9月9日(土) 9:30～11:50
- ・実施団体 日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階 大会議室
- ・内 容
 - 高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題「スキンケア ～お肌をすこやかに保つためには～」
 - 講師 副院長兼皮膚科部長 池田政身 氏
 - 救急法の実技体験、成人・乳幼児の一次救命処置
 - 災害時に役立つ代用品紹介やリラクゼーション体験等
- ・来場者等 153人



■「赤十字なんがでっきょん? セミナー」の実施

平成21年度の支部創設120周年記念事業として開始した「赤十字事業体験バス」については好評を得たことから、ネーミングを改め、赤十字の施設見学や講習会等で、実際に「見て・聞いて・触れて・感じて・納得して」をサブテーマに、赤十字事業への理解と知識を深めていただくことを目的に実施しました。

体験内容

- 赤十字について
- 非常食の炊き出し
- 防災セミナー
- 香川県支部災害救護装備や救援物資備蓄倉庫見学
- 救急法、健康生活支援講習、幼児安全法等
- 献血について
- 献血バス、血液センター施設見学

月 日	地区・分区	参 加 者	人数
12月21日(木)	丸亀市	奉仕団員、自治会員	34
1月17日(水)	高松市(木太)	奉仕団員、婦人会	32
2月14日(水)	三木町(平井)	奉仕団員、婦人会	27
3月15日(木)	高松市(太田)	奉仕団員、自治会員	32
合計4回			125人



■「かがわ育児の日フェスティバル2017」への参加

若い世代に子育ての楽しさや喜びを伝える等を目的として開催された「かがわ育児の日フェスティバル2017」に参加し、子どもとのふれあい等を主なテーマに設け、来場者にアピールしました。

- ・日 時 平成29年10月1日(日) 10:00～16:00
- ・場 所 さぬきこどもの国 芝生広場
- ・内 容
 - 子どもと赤十字のふれあい、青年赤十字奉仕団による
 - スーパーボールすくい、折り紙、
 - 子ども用救護服試着体験、災害救護車両展示
- ・来場者等 コーナー来場者 約500人、参加協力者 4人





■ 平成 29 年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成 16 年に結成されました。

平成 29 年度総会は 8 月 3 日（木）に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢 59 人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。

また、総会の議事に先立ち、平成 28 年度に高額の活動資金の寄託がありました方々に浜田恵造支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

- ・会 員 数 個人 49 人 法人 88 社
- ・総 会 日 時 平成 29 年 8 月 3 日（木）
- ・場 所 リーガホテルゼスト高松
- ・参 加 者 59 人
- ・社長感謝状 法人 4 社
- ・金色有功章 個人 2 人 法人 1 社
- ・銀色有功章 個人 2 人 法人 17 社

有功会県外研修は、赤十字ゆかりの地を訪れ、徳島県支部創設 130 周年記念展の本社所蔵絵画等を見学しました。

- ・視 察 日 時 平成 29 年 6 月 6 日（火）
- ・視 察 地 徳島県鳴門市ドイツ館、徳島県立近代美術館他
- ・参 加 者 会員他 40 人



■ 平成 29 年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会の開催（全国大会）

日赤紺綬・有功会会長協議会は全国の単位会相互の連絡協調と親睦を図り、もって日本赤十字社の社業振興に寄与することを目的として結成された組織です。平成 29 年度は全国大会を香川県にて開催しました。

- ・実施団体 日赤紺綬・有功会会長協議会
- ・日 時 平成 29 年 10 月 19 日（木）～ 20 日（金）
- ・場 所 J R ホテルクレメント高松（総会）
金刀比羅宮
栗林公園
- ・参 加 者 134 人



12 評議員会

評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

平成29年度は、平成29年6月8日（木）、平成30年2月14日（水）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの平成29年度事業報告、決算、平成30年度事業計画、予算等が承認されました。



日本赤十字社香川県支部役員名簿

（平成30年3月31日現在）

職 名	氏 名	地 区 別	備 考	職 名	氏 名	地 区 別	備 考
支 部 長	浜田 恵造			評 議 員	福岡由紀子	丸亀市地区	
副 支 部 長	天雲 俊夫			//	鈴木 勝榮	//	
監 査 委 員	新佐 耕二			//	明石 正子	坂出市地区	
//	長嶋 正信			//	高畑 光宏	善通寺市地区	
//	角田 富雄			//	片山 秀樹	観音寺市地区	
評 議 員	石田 雄士	高松市地区		//	遠山 良子	さぬき市地区	
//	大野 敏子	//		//	大田 稔子	東かがわ市地区	
//	中村 絹代	//		//	植岡 澤江	三豊市地区	
//	前田 光子	//		//	塩田 幸雄	小豆地区	
//	香川 良子	//		//	筒井 敏行	東讃地区	
//	棒本 サダ子	//		//	谷川 俊博	中讃地区	
//	金山 孝子	//		//	丸尾 幸雄	//	
//	平田 フサ子	//		//	竹崎 克彦	支部長選出	
//	宮崎 美佐子	//		//	藤目 真皓	//	
//	田中 克幸	//		//	田井 敏之	//	
//	岩崎 正朔	丸亀市地区		//	近藤 彰介	//	

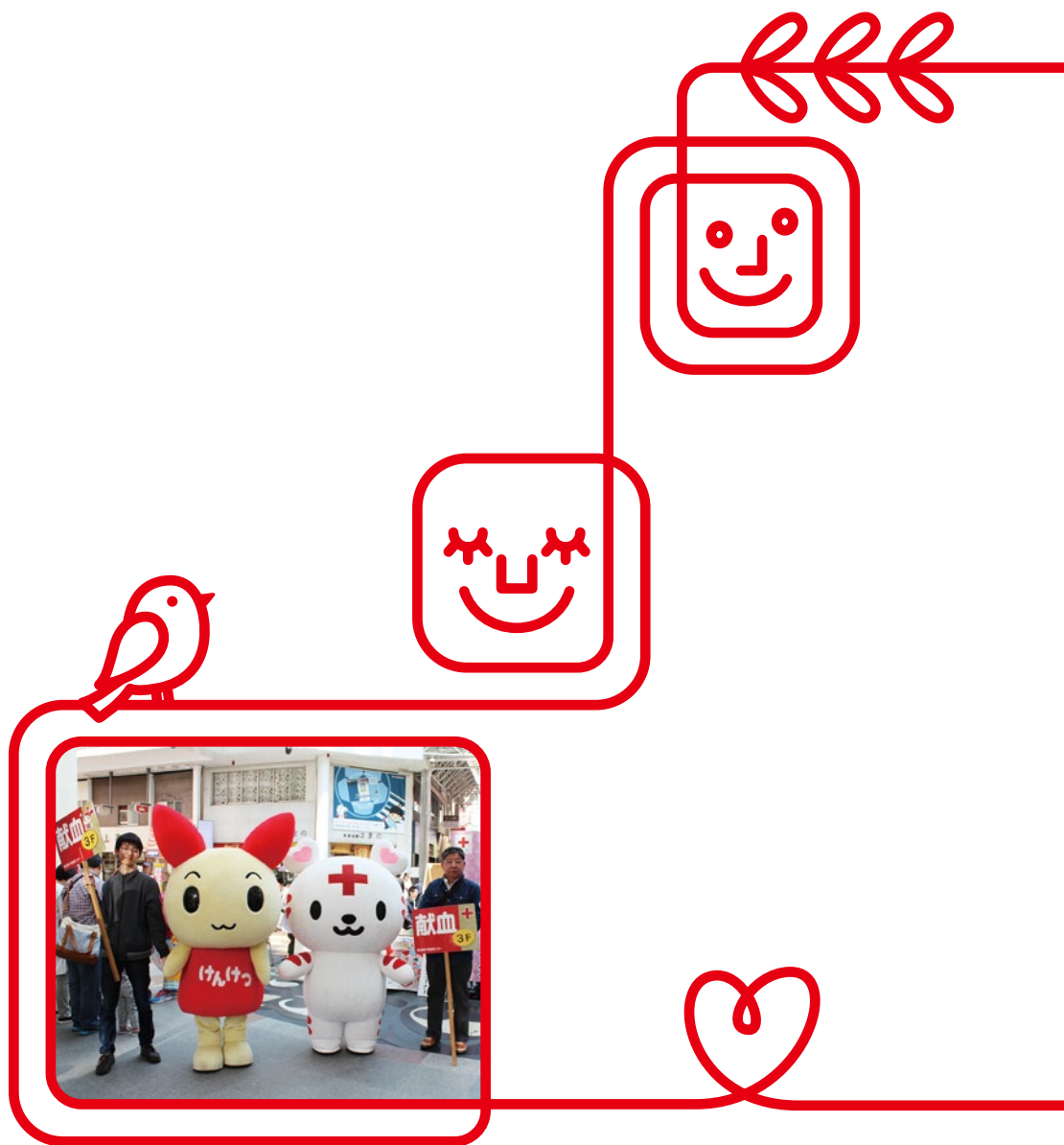
※評議員任期 平成28年2月14日～平成31年2月13日

13 決算概要

平成29年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)
社資収入	156,285,433	73.5	災害救護事業費	22,001,442	14.0
一般社資収入	138,904,983		救護看護師養成費	4,320,000	2.8
・会費収入	132,699,818		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	25,836,587	16.5
・寄付金等収入	4,200,165		奉仕団活動費	2,302,169	1.5
・指定事業社資収入	2,005,000		青少年赤十字活動費	3,594,657	2.3
法人社資収入	17,380,450		地域(市町)における赤十字活動費	19,378,095	12.4
・指定事業社資収入	2,000,000		赤十字運動普及・社員増強費	12,426,733	7.9
・その他社資収入	15,380,450		医療施設基盤整備交付金	3,210,000	2.0
委託金等収入	2,848,867	1.3	血液事業基盤整備交付金	589,434	0.4
本社からの事業交付金	606,500	0.3	国際救護活動費及び本社事業費	23,556,129	15.0
国際救護活動資金繰入金収入	5,000	0.0	資産管理費	5,358,794	3.4
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,231,651	2.5	事業管理運営費	33,887,953	21.6
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	4,935,054	2.3	歳 出 合 計	156,661,993	100.0
前年度繰越金(年度当初事業資金)	42,814,604	20.1			
歳 入 合 計	212,727,109	100.0			

歳入歳出差引（翌年度当初事業資金）56,065,116円



日本赤十字社 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ : <http://www.jrockgw.com>

日本赤十字社香川県支部

検索

